

事務事業名	福祉医療事業	所属部	市民環境部	所属課	市民環境生活課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ) 地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	生活グループ	課長名	安食 恵治
施策名	(16) 地域医療の充実	担当者名	岩田美幸	電話番号 (内線)	0854-40-1031
基本事業名	(046) かかりつけ医制度の普及	予算科目	会計 款 項 目 中事業 01 1 1 5 0 5 0 0 1		福祉医療事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (平成16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	福祉医療費助成対象者[重度心身障がい者及びひとり親家庭]に対して、医療費の自己負担分を助成(自己負担限度額あり)。	昭和48年4月に島根県より障がい者を対象とした「福祉医療助成事業補助金交付要綱」が制定され、県内各市町村で実施された。

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)	事業費	千円						
	内訳 扶助費	千円	31,481	31,455	32,621	36,531	36,531	
	審査支払手数料	千円						
	事務費	千円	29,003	25,888	24,486	24,000	24,000	
	県補助	千円	31,784	31,793	32,895	36,930	36,930	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	事業費計 (A)	千円	92,268	89,136	90,002	97,461	97,461	
資格管理	人件費	人	5	5	5	6		
医療費助成	延べ業務時間	時間	1,230	1,230	1,230			
	人件費計 (B)	千円	4,691	4,782	4,849	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	96,959	93,918	94,851	97,461	97,461	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	福祉医療費助成対象者[重度心身障がい者及びひとり親家庭]に対して、医療費の自己負担分を助成(自己負担限度額あり)	ア 助成件数(現物給付)	件	19,852	19,378	19,433	19,433	19,433	19,433
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 助成件数(償還払)	件	303	433	492	492	492	492
平成23年度に同じ ※福祉医療対象者の所得制限について、税制改正(扶養控除等の見直し)の影響が生じないよう要綱等改正	ウ 合計	件	20,155	19,811	19,925	19,925	19,925	19,925	
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	次の条件のいずれかに該当する方(所得要件あり) ① 重度心身障がい者 ② ひとり親家庭	ア 重度心身障がい者 (4/1現在)	人	1,164	1,148	1,127	1,108	1,108	1,108
		イ ひとり親家庭 (4/1現在)	人	416	415	416	436	436	436
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
医療費の適正な給付及び医療費助成により、医療を受けやすくすることによって、対象者の早期治療・健康増進を図る。	ア 助成件数	件	20,155	19,811	19,925	19,925	19,925	19,925	
	イ 助成額	千円	61,042	61,053	63,366	63,366	63,366	63,366	
	ウ								
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標								
医療費を助成すことにより、安心して早期治療が受けられ、市民の健康を増進することにつながる。	ア 安心して医療機関を利用できると感じる市民の割合	%	61.3	72.1	73.9	73.9	73.9	73.9	
	イ								

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
医療の高度化等により医療費が増加している。県より助成内容の見直しがなされ、平成17年10月からは、本人負担額が定額500円から定率1割(所得の状況等に応じて限度額あり)と変更になった。	昭和48年4月に島根県より障害者を対象とした「福祉医療助成事業補助金交付要綱」が制定され、昭和54年には対象者に母子世帯が、平成17年度の改正では父子世帯が加えられた。	平成17年10月に県により助成内容の見直しがなされ、本人負担額が定額500円から定率1割(所得の状況等に応じて限度額あり)となり、医療費の自己負担が増加した。これを受けて、議会・対象者・関係団体などから負担軽減について検討してほしいとの意見がある。

事務事業名	福祉医療事業	所属部	市民環境部	所属課	市民環境生活課
-------	--------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 医療福祉の充実を図ることにより、安心して暮らすことができる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 医療費助成を行うことにより、早期治療による福祉の増進、また経済的・精神的負担の軽減も図ることができる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 高額な医療を受けることが多い障がい者の生活の維持、またひとり親家庭への生活負担の軽減という制度の趣旨から考えると妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 関連性の多い健康福祉部との連携・連絡体制を整備していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 廃止すると医療費の支払いが困難になり、経済面・精神面でも不安定となる。また、医療費がかかるので受診控えが起こり病氣・障害の悪化を招くことも考えられる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 重度心身障がい者については「長寿障がい福祉課」、ひとり親については「子育て支援課」との協力・連携が重要
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 廃止または削減すると医療費の支払いが困難になり、経済面・精神面でも不安定となる。また、医療費がかかるので受診控えが起こり病氣・障害の悪化を招くことも考えられる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 現状でも最小限の人員で事業を行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 高額な医療を受けることが多い障がい者の生活の維持、またひとり親家庭への生活負担の軽減という制度の趣旨から考えると妥当。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	福祉医療の対象者は、健康福祉部関連の制度と重複している方が多い。市民環境部と健康福祉部で協力・連携を行い、対象者の手続き等の負担が減るようにしたい。																							
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																							
特になし		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									
特になし																									